



# 学校だより

2月号  
横浜市立大道小学校  
令和6年1月31日



← 学校 WEB ページはこちらから [\\*学校日誌を毎日更新中。ぜひご覧ください。](#)

副校長 山方 健一

## 思いを「つなぐ」

11月のある日、6年生から、「これから取り組みたい活動について相談をしたい」という旨の手紙をもらい、教室へ話を聞きに行きました。その相談とは、来年度、自分たちはいけないけれど、大道小創立80周年を盛り上げるために、6年生が最後に自分たちにできることをしたい、そして、「階段アート」の制作に取り組みたいという内容でした。「階段アート」とは、階段の蹴上げ部分(たて面)に絵を描いて、階段全体を1つの作品に仕上げるものです。下級生や大道小学校のために、「階段アート」を残すことで80周年を祝い、また、感謝の気持ちを伝えたいと言うのです。



私は、6年生からの説明を聞いて、胸が熱くなりました。子どもたちの、6年間通った大道小学校への溢れる愛情を感じるとともに、自分たちの思いを自ら行動に表そうとする姿や、子どもたちの心の成長をとともうれしく思いました。この「階段アート」への取り組みは、大道小に様々なものを生み出す可能性を秘めているように感じました。例えば、朝階段を上がるときに、「今日も一日がんばろう!」と思えるような絵が目に入ってくれば、学校で過ごす時間がより一層楽しみになる人が増えるかもしれません。また、この「階段アート」は6年生が大道っ子の一員であった証となり、未来の大道小に思いを「つなぐ」、そんな価値があると思ったからです。

そして何より、6年生が生み出そうとしている「階段アート」は、形として残るものだけでなく、これからの大道小を支えていく大切な柱となるような、「気持ちや姿勢」を伝えるものになると思えました。“周りの人のために自分にできることをしよう”とか、“物事を諦めず最後まで取り組もう”といった、精神的なメッセージを6年生がその背中で見せて(魅せて)くれるのだと。

11月に1・2年生合同の遠足へ行った際、上の学年の2年生が、1年生にやさしく声をかけ手助けしたり、ペアで歩くときにさっと動いて自分が車道側を歩いたりする姿がありました。それは紛れもなく、なかよし活動の際に普段から6年生が下級生にしている心遣いであり、そんな姿勢や行動が、自然と下の学年の子どもたちに受け継がれていると感じた瞬間でもありました。6年生の背中を見て下級生が育ち、思いは着実に繋がれていると、そのとき6年生にも伝えました。

12月の代表委員会で、各学級で出された意見をもとに、来年度の大道小学校創立80周年のスローガンが決まりました。『輝け みんなの笑顔 未来へつなごう 大道っ子 きずなのわ』です。大道小に関わるすべての人たちの思いをつないで、みんなが笑顔に包まれる、そんな80周年にしたいという意味がこのスローガンには込められています。6年生の思いをつなぐ「階段アート」から、いよいよ大道小の80周年への取り組みが動き出ししていきます。皆様のお力もお借りして、すてきな周年行事を創り上げていければ幸いです。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。